（様式Ｃ）

・わかりやすいように赤字でフォント変更していますが。
実際は黒でフォントを変えずに入力してください。
・不要な部分を消して必要事項のみ入力してください。

調

受検番号	※　番	選考班	※　班	秋保かがやき支援学校　高等部普通科

ふりがな	あきう　たろう	性別	男	生年月日	平成 23年11月11日生
本人氏名	秋保　太郎				

中学校在学（出身）者所属学級	特別支援学級（障害種：　知的　）
障害・疾病等診断名	知的障害　自閉症

・療育手帳については、都道府県によって名称が異なる場合があるため、各都道府県で使用されている名称に合わせて表記する。

所持する知的障害を証明するもの	・療育手帳　（　B　）

その他の手帳の有無	身体障害者手帳	精神障害者保健福祉手帳
	なし	なし

心理・発達検査等	実施年月	検査名	結果等
	R6、7	WISC－Ⅳ	FSIQ59、VCI63、PRI78、WMI53、PSI56

学習の記録	教科等	学習の状況
	国語	・「詩に親しむ」では、声の大きさや読む速さなど表現方法を工夫しながら朗読することができた。 ・小学校３年生程度の漢字の読み書きに取り組んでいる。
	社会	
	数学	
	理科	
	音楽	
	美術	
	保健体育	
	技術・家庭	
	外国語	
	自立活動	

パソコンで作成する場合は、不要な選択肢を削除する。
例：「男・女」→「男」（「女」を削除し、「男」のみを残す）

手書きの場合は、該当する項目を○で囲む。

学校において指導している教科、合わせた指導、自立活動について記入する。指導している教科等の数に応じて、行数を増減してもよい。

指導した教科等ごとに、以下の内容を簡潔に記入する。
・できるようになったことは何か。
・どのような指導を行い、その結果、何ができるようになってきているか。
・今後の課題として残っていることは何か。

特別活動等の記録

・合唱コンクールにおいて、交流学級の生徒たちとともに大きな声で歌うことができた。
・地元の伝統芸能○○踊りについて詳しく調べ、実際の踊りとともに発表することができた。

注１　※の欄は記入しない。なお、教科等の欄は貴校で実施している教科並びに指導の形態名を記入する。
注２　パソコンで作成する場合にはこの様式にのっとる。ただし、左側余白を 25 ㎜とり両面印刷とする。

受検番号	※　　番	選考班	※　　班	本人氏名	秋保　太郎

発達の様子	基本的生活習慣	・衣服の着脱では、前後を間違えることはあるもののほぼ自立している。 ・食事については、スプーンを口に運ぼうとする動作は見られるものの、介助が必要である。
	運動能力	
	手指機能	
	言語理解	
	社会性	

手先の器用さ（紙、はさみ、タオル、箸等）、握る動作、つまむ動作、両手の動き、興味ある物への反応などについて簡潔に記入する。

現在の状況	＝性格や行動の特徴＝ ・穏やかな性格である。怒ることはほとんどない。 ・初めての場所などでは緊張して教師のそばから離れようとしない。 ・聴覚過敏であり、大きな音には必要以上に驚いて不安になりやすい。
	＝健康面で配慮しなければならないこと＝ ・疲れているとてんかん発作を起こしやすいため、本人の疲労度合いを見ながら必要に応じて休息の時間を確保する。
	＝家庭の教育によせる関心＝ ・自立した生活を目指し、家庭でも積極的に家事に取り組ませている。
	＝その他の特記事項＝ ・令和〇年〇月〇日　〇〇立〇〇学校から〇学年に転入 ・高等部卒業後、本人は声優を希望しているが、保護者は一般就労をしてほしいと考えている。

就学中に転入学があった場合、記入する

出欠の記録（令和８年１１月末日まで）

	授業日数	欠席日数	忌引き等日数	出席日数	事由（欠席日数が７日以上の場合に記入）
１年	198	12	0	186	病気欠席9（風邪8、通院1） 事故欠席3（家事都合3）
２年	201	5	3	193	
３年	200	21	0	179	病気欠席19（体調不良17、通院2） 事故欠席2（家事都合2）

記載者名：　教諭　　青葉　太郎

記載内容に誤りがないことを証明します。

日付は提出日

令和　8年　〇月　〇日

学校名　　仙台市〇〇中学校

校長名　　仙 台 三 郎　印